

NSPE magazine 2009 年3 月

倫理について：あなたが審判者だったら

親密すぎて、気安くない？

PE は、サプライヤで勤務する配偶者との利益相反を避けることができるか？

状況

PE でHiQual 社の品証マネジャーのジョン・S・ヒッチド氏(訳者注：「hitched」には「結婚した」との意味あり) は、同社の調達マネジャーが、精密プラスチック部品の新サプライヤと契約したことを知る。その新サプライヤの製造マネジャーは、彼の配偶者である、メアリ・S・ヒッチド女史である—HiQual 社では誰もその事実を知らない。ジョンがこの状況を作り出したわけではなく、またこれら2 社間の取引に圧力をかける試みは何もなされていない。

あなたはどう思いますか？

これらの事実の元、ジョンの倫理責務は何でしょう？

倫理検討委員会での意見

そのエンジニアの判断或いはサービスの品質に影響を及ぼしうる、或いはその恐れのあるような全ての事実及び状況を、完全に、包み隠さず、明確に開示することが最も望ましい。このような開示を行う効果は絶大であり、それにより、関係を持つ或いは取引に関する全ての者が、不適切な行為が行われる可能性を低減するような適切な手順及び手続に従うことが促進されるのである。また最高の行動原則に従うことにより、常にそうとは限らないが、波及効果としてそういった関係における遵守すべき例が示されるはずである。その一方でジョンは、少なくとも相反する利益が生じる可能性を認識しているのであるから、社内の適切なマネジャーに、サプライヤの鍵を握る従業員の配偶者であることを完全に開示する必要がある、また状況次第では、ジョンはそのサプライヤとの特定の取引を忌避する必要性を生じることもある。ジョンが品証マネジャーとして、そのサプライヤの製品の品質を評価しなければならないであろう、という状況は容易に想定できる。そしてもしそのサプライヤの製品に何か疑問が持ち上がった場合は、ジョンは彼の雇用主の利益と、彼の配偶者及びその雇用主の利益との間で葛藤するような状況になりかねない。

(結論)

ジョンは社内の適切なマネジャーに、サプライヤの鍵を握る従業員の配偶者であることを完全に開示する必要がある。更に、ジョンはそのサプライヤとの特定の取引を忌避する必要性を生じることもある。

NSPE コード参照先

Section II.4.a.: エンジニアは、その判断、或いはサービスの品質に影響を及ぼしうる、或いは及ぼす恐れのある全ての既知の、或いは潜在的な利益相反を開示しなければならない。

Section III.1.e.: エンジニアは、その職務の尊厳と規範を代償にして、自身の利益に基づいて行動してはならない。

Section III.5.: エンジニアは、その職務上の義務において、相反する利益に影響されてはならない。

このシナリオは、NSPE 倫理レビュー委員会の事例06-10 に基づき、無料コピーは「NSPE Member Service 888-285-6773」から入手可能です。

全米PE 協会、倫理委員会「NSPE Board of Ethical Review」はNSPE 会員を含む種々の情報源より提出された真実、又は仮定の倫理事例につき検討を行います。夫々の事例に含まれている事実は、委員会 BER により審査されるか、提出された全ての適切な事実を表しているとは限りません。この意見はあくまでもガイドラインのみを目的とし、この声明が本文の前、又は後に含まれており、全米PE 協会「NSPE」の倫理委員会「Board of Ethical Review」に帰属することが適切に示されている限りは許可なしに再録可能です。

NSPE はDeputy Executive Director であり、General Counsel であるArthur Schwartz 氏により、高い評価の技術倫理の教育や訓練を行ってきました。25 年以上にわたり、Schwartz 氏は技術倫理の分野で種々の実質的な専門的問題についての著書や講演を行い、特別の見識を持っています。このサービスの範囲や費用に関してはachwartz@nspe.org までコンタクトしてください。

Ethics 編集委員よりの追記

上記の例文中に青字で示したように「recuse」という言葉が出てきます。この言葉は「利害対立を忌避（きひ）する」という法律用語であり、日本人にはいささかなじみが薄い言葉です。NSPE のホームページで BER (Board of Ethical Review) のCase No. 04-2 では ; 「may be required to recuse himself from the decision」又、Case No. 06-11では ; 「Engineer C may need to abstain or recuse himself if the issue comes before the state engineering licensure board.」といった使い方がされています。

JSPE Magazine 編集委員よりのお願い

JSPE Magazine Ethics 編集委員会では、PE 会員の皆様に、NSPE のEthics のケーススタディを和訳していただき、実際のケースに触れて、Ethics を理解し、広めていきたいと考えております。これにより倫理についての知識が身に着きます。和訳者を募集していますので希望者はedit.2007@jspe.org まで連絡をお願い致します。応募者には優先的にこちらで用意したリストの中からお希望のケースを選択していただき、翻訳をお願い致します。翻訳文は編集委員のチェックを受けた後に、JSPE Magazine に掲載する事になります。